

令和4年度岡山県地区防災計画等作成モデル事業について

1 概要

平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、河川氾濫や津波等で浸水が想定される区域や、土砂災害警戒区域がある地区において、モデル事業として県が市町村等の地区防災計画、又は避難行動要支援者の個別避難計画の作成を支援する。

モデル事業の推進にあたっては、県及び市町村で協議会を設置し、計画作成の過程やノウハウ等を共有し、計画作成が全県的に広がるよう取り組む。

2 実施予定地区

資料3 ページ（議題3 のとおり）

3 スケジュール（案）

- ・令和4年 4月 全体会議（第1回協議会）の開催
地区との顔合わせ（ヒアリングや視察の実施）
- 5月以降 活動開始
- ・令和5年 1月 地区防災計画又は個別避難計画の完成（成果品）
- 2月 全体会議（報告会）の開催

4 進め方

各モデル地区において、防災及び福祉の専門家等の協議会アドバイザーのアドバイスを受けながら計画を作成するとともに、協議会の全体会議において情報共有等を図り、全市町村での横展開を目指す。

各地区に協議組織となる部会を設け、自主防災組織、民生委員、社会福祉協議会、福祉専門職、専門家（防災・福祉）、市町村・県職員（防災・福祉）等の多様な主体の参画による地域住民等が主体的となった計画作成の取組を支援する。

他市町村については、計画作成の過程やノウハウ等を共有するため、オブザーバーとしての参加を想定している。

■協議会全体イメージ

